

項目		説明
試料・情報の利用目的及び利用方法	研究課題名	肺癌の採取検体を対象とした DNA/RNA の品質向上に関する研究
	研究目的	近年、次世代シーケンサと呼ばれる複数の遺伝子を同時に検索する方法が登場しました。DNA や RNA と言われる核酸を材料とするバイオマーカー検査の一つです。しかし、核酸の量・品質の状態によって、ある程度の割合で解析が失敗してしまうことがあります。 本研究では、肺癌組織を採取してからバイオマーカー検査を行う工程の違いによって、核酸の品質にどれ程の差が生じるのかを調べ、最適な工程を明らかにすることを目的とします。
	研究対象者	2018 年 1 月から 2022 年 3 月に当センターで検体を採取された肺癌の患者さん
	研究期間	西暦 2021 年 2 月 8 日 ~ 西暦 2022 年 03 月 31 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input checked="" type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物 (尿・便) <input type="checkbox"/> その他 (記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の管理について の責任者	当センター 研究責任者	伊藤 宏之
試料・情報を 利用する者の 範囲	当センターでの実施診療科/部局等	呼吸器外科, 病理診断科, 呼吸器内科, 臨床研究所
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	なし